

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	カボザンチニブ
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ur-047
登録日・更新日	2020年6月23日
削除日	
出典	カボメティクス錠添付文書 カボメティクス錠適正使用の手引き
入力者	菅野 仁美

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名:一般名 (薬剤名・商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	カボザンチニブリンゴ酸塩 (カボメティクス錠)	20mg、60mg	60mg/回	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口)	1日1回 空腹時	連日

1コースの期間	設定無し
投与間隔の短縮規定	設定無し
計算後の投与量上限値	60mg/回
計算後の投与量下限値	20mg/回

減量・中止基準	<p>〈減量・中止する場合の投与量〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>減量レベル</th> <th>投与量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常投与量</td> <td>60mg/日</td> </tr> <tr> <td>1段階減量</td> <td>40mg/日</td> </tr> <tr> <td>2段階減量</td> <td>20mg/日</td> </tr> <tr> <td>中止</td> <td>20mg/日で忍容不能な場合、投与を中止する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈減量・中止基準〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade<sup>(注)</sup></th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Grade 2の場合</td> <td>管理困難で忍容不能な場合は、Grade 1以下に回復するまで1段階ずつ減量又は休薬する。休薬後に投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量可)。</td> </tr> <tr> <td>Grade 3の場合</td> <td>Grade 1以下に回復するまで1段階ずつ減量又は休薬する。休薬後に投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量可)。</td> </tr> <tr> <td>Grade 4の場合</td> <td>Grade 1以下に回復するまで休薬する。投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量不可)。</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈尿蛋白/クレアチニン比 (UPCR) * に応じた減量・休薬〉                  *UPCR=尿中蛋白濃度 (mg/dL) / 尿中クレアチニン濃度 (mg/dL)                  UPCR ≥ 1かつUPCR &lt; 3.5                  再検査でUPCR &gt; 2または24時間蓄尿で尿蛋白 &gt; 2g/24hの場合は、減量または休薬。                  UPCR ≤ 2に低下した場合は減量して継続。                  減量後もUPCR &gt; 2が持続する場合は、UPCR ≤ 2に低下するまで休薬を考慮。                  UPCR ≥ 3.5                  再検査でUPCR ≥ 3.5の場合は、休薬を継続。UPCR ≤ 2に低下した場合は、減量して再開。</p>	減量レベル	投与量	通常投与量	60mg/日	1段階減量	40mg/日	2段階減量	20mg/日	中止	20mg/日で忍容不能な場合、投与を中止する。	Grade <sup>(注)</sup>	処置	Grade 2の場合	管理困難で忍容不能な場合は、Grade 1以下に回復するまで1段階ずつ減量又は休薬する。休薬後に投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量可)。	Grade 3の場合	Grade 1以下に回復するまで1段階ずつ減量又は休薬する。休薬後に投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量可)。	Grade 4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量不可)。
	減量レベル	投与量																	
通常投与量	60mg/日																		
1段階減量	40mg/日																		
2段階減量	20mg/日																		
中止	20mg/日で忍容不能な場合、投与を中止する。																		
Grade <sup>(注)</sup>	処置																		
Grade 2の場合	管理困難で忍容不能な場合は、Grade 1以下に回復するまで1段階ずつ減量又は休薬する。休薬後に投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量可)。																		
Grade 3の場合	Grade 1以下に回復するまで1段階ずつ減量又は休薬する。休薬後に投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量可)。																		
Grade 4の場合	Grade 1以下に回復するまで休薬する。投与を再開する際には、1段階減量した用量から開始する(休薬前の用量まで再増量不可)。																		
前投薬	なし																		
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20mg錠と60mg錠の生物学的同等性は示されていないため、60mgを投与する際には20mg錠を使用しないこと。</li> <li>・食後に本剤を投与した後、C<sub>max</sub>及びAUCが増加するとの報告がある。</li> <li>・尿蛋白検査は、本剤の投与開始前および投与期間中は月1回実施する。</li> </ul> <p>〈注意を要する合併症・既往歴等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高血圧の患者</li> <li>・消化管等腹腔内の炎症を合併している患者、消化管に腫瘍の浸潤を認める患者</li> <li>・血栓塞栓症又はその既往のある患者</li> <li>・脳転移、肺転移を有する患者</li> <li>・外科処置後、創傷外科的処置後、創傷が治癒していない患者</li> <li>・肝機能障害患者</li> <li>・生殖能を有する患者、妊婦、授乳婦、小児等</li> </ul> <p>注) GradeはNCI-CTCAE(Common Terminology Criteria for Adverse Events) v5.0に準じる。</p>																		

記入者	菅野 仁美
確認者	宮地 康徳